

第九次福井市総合計画 原案。

現状・課題

- 北陸新幹線の福井開業により、**市民だけでなく観光客にも利用しやすい、地域鉄道や路線バスといった二次交通の充実**が求められています。
- しかし、公共交通を支える運転士が不足しており、交通ネットワークを維持するためには、路線の見直し等による、**持続可能な交通手段への転換**を図る必要があります。
- ICTを活用し、様々な交通手段をシームレスにつなげ、出発地から目的地までの移動を一つのサービスとしてとらえるMaaSやキャッシュレス決済の導入といった**デジタル技術を活用した利便性の向上**、シェアサイクル「ふくチャリ」と連携した**回遊性の向上**を図る必要があります。

現状データ

参考3 福井市の現状データ集（令和7年6月ver.）の該当ページご確認ください。

- 鉄道、バスの輸送人員の推移（P 1 2）
- すまいるバス利用者数の推移（P 1 4）
- ふくチャリ利用回数の推移（P 1 5）



政策階層

目標（取組の方向性）

公共交通を利用して様々な人がスムーズに行き来できる快適なまちをつくる

具体的内容

- 誰もが利用しやすい公共交通となるよう、地域鉄道及び路線バス等の利便性の向上を図ります。
- 市民にとっても観光客にとっても利用しやすい公共交通とするため、広域的な公共交通ネットワークの維持・強化に取り組みます。

キーワード

市民からいただいた意見や社会情勢の変化を踏まえ設定

運転士不足

MaaS
(Mobility
as
a Service)

自動運転

キーワードを参考に協議していただきますが、あくまでも一例であり、必ずしもこだわる必要はございません。

政策2 まちなかに関する政策

現状・課題

- 県都の玄関口となる本市のまちなかでは、北陸新幹線福井開業を機に県内外から多くの人を訪れ、新たなにぎわいと交流が広がっています。
- 今後は、開業効果をさらに引き出すとともに、**住む人も訪れる人も、誰もが主役となり楽しむことができる魅力あるまちづくり**が求められています。
- まちなかの歴史や自然、充実した都市基盤を活かしつつ、新たな機能を付加するなど、**安全安心で快適な都市空間づくり**を進める必要があります。また、歩道や公園、河川敷などの公共空間を最大限に活用し、**にぎわいと交流の拡大・持続化を図る**必要があります。
- さらに、様々なプレイヤーのまちづくりへの参画を促進することで、**にぎわいと成長の好循環につなげていくことが重要**です。
- また、まちなかの里山として市民に親しまれている足羽山や中央公園等を、より魅力あるものにしていく必要があります。

現状データ

参考3 福井市の現状データ集（令和7年6月ver.）の該当ページご確認ください。

- 福井駅周辺の再開発の状況（P16）
- 県都まちなか再生ファンドの活用状況（P17）
- 空き店舗数の推移（P18）



政策2 まちなかに関する政策

政策階層

目標（取組の方向性）

まちなかの充実した都市機能により、誰もが主役の楽しさあふれる心弾むまちをつくる

具体的内容

- ・ 県都の玄関口として充実した都市機能を活かし、にぎわいと活力あるまちづくりを進めます。
- ・ まちなかを舞台に、住む人も訪れる人も、誰もが主役となり楽しむことができる場づくりに取り組みます。

キーワード

市民からいただいた意見や社会情勢の変化を踏まえ設定

県都グランド
デザイン

まちなか
キャンパス

多目的
アリーナ

キーワードを参考に協議していただきますが、あくまでも一例であり、必ずしもこだわる必要はございません。

政策3 生活インフラに関する政策

現状・課題

- 近年、大規模な地震や豪雨災害により、道路、河川、上下水道等の社会基盤が甚大な被害を受け、広範囲にわたって市民生活に多大な影響を及ぼしていることから、**今まで以上に老朽化対策や、耐震化、浸水対策の重要性が高まっています。**
- 特に、高度経済成長期に整備した施設が更新時期を迎えているため、**長寿命化による効率的な更新・維持管理に取り組んでいる**ところです。
- 一方で、人口減少や節水意識の高まり等による料金、使用料収入の減少など、**上下水道経営は厳しい状況に直面**しています。
- こうした状況の中、これまで以上に上下水道施設の計画的な老朽化対策及び災害対策を進めるとともに、**なお一層の経営の効率化**が求められています。
- また、**大規模な盛土に伴う被害防止**のため、詳細な調査や住民への情報提供を行うとともに、パトロール等による安全対策が必要となっています。

現状データ

参考3 福井市の現状データ集（令和7年6月ver.）の該当ページご確認ください。

- 下水道の状況（P26）
- 水道の状況（P27）



政策階層

目標（取組の方向性）

持続可能で強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる

具体的内容

- ・ 市民が安全・安心に生活できるよう、災害に強い社会基盤の整備と、適切な維持管理を行います。
- ・ 市民や企業等と連携して、安全で快適な生活環境を保全します。
- ・ 市民の信頼に応える良好な水環境を保つとともに、安全で安心な水を安定供給します。

キーワード

市民からいただいた意見や社会情勢の変化を踏まえ設定

老朽化対策

盛土

ウォーター
PPP

キーワードを参考に協議していただきますが、あくまでも一例であり、必ずしもこだわる必要はございません。

政策4 防災・減災に関する政策

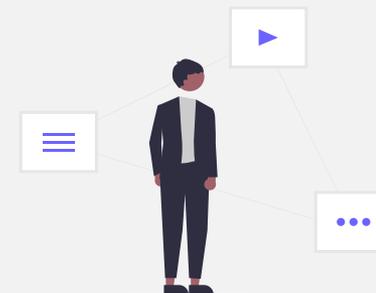
現状・課題

- 近年、地震や豪雨などの自然災害が各地で甚大な被害をもたらしており、**自然災害へのさらなる対応力の強化**が求められています。
- 国は令和6年能登半島地震を踏まえ、被災者が尊厳のある生活が送れるよう、空調設備、トイレ、等を早急に備える体制づくりを推進し、**避難所の環境改善に取り組む**こととしました。
- 南海トラフ巨大地震など今後想定される大規模災害だけでなく、原子力災害等あらゆる危機事象に備え、**今後は避難所の生活環境対策や災害情報伝達体制の強化、市民への防災意識啓発などの対策強化が一層重要**となります。

現状データ

参考3 福井市の現状データ集（令和7年6月ver.）の該当ページご確認ください。

- 自然災害の状況（P57）



政策4 防災・減災に関する政策

政策階層

目標（取組の方向性）

市民・企業・他自治体等と連携し、危機事象に負けないまちをつくる

具体的内容

- ・ 避難者の良好な生活環境の確保を図るとともに、発災時の迅速な情報伝達体制を整えます。
- ・ 市民の防災意識を高めるとともに、事業者、団体や他自治体等と連携するなど、災害への対応力強化を図ります。

キーワード

市民からいただいた意見や社会情勢の変化を踏まえ設定

スフィア基準

災害情報
伝達手段

要配慮者

キーワードを参考に協議していただきますが、あくまでも一例であり、必ずしもこだわる必要はございません。